

# ハローワーク奈良 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

雇用情勢の改善により、求人は増加しているものの求職者が減少していることから、「求人充足」を最重要と捉えて重点的に取り組みを進めることとしました。このため、窓口での職業相談時に求職者の就職希望条件を詳細に聴取して、管内求人を検索・提案して同時に複数の応募を勧奨することで、管内求人の充足促進及び求職者の一日も早い就職に取り組みました。

また、複数の求人者を対象とした面接会では、求職者が同時に複数応募をしやすいように、業種や職種を合わせた複数の求人者による面接会として実施しました。特に人手不足が顕著な介護分野については、開催頻度を増やし毎月開催しました。

求職者減少への対応としては、求職者自身が窓口相談を受けやすいように、相談担当を決めた担当者制による相談体制とし、また相談窓口の利用後においては、来所勧奨として求人情報の郵送による提供や提供後の求職者へのフォローアップの実施、紹介後採用に至らなかった求職者への早期のフォローアップなど、求職者への支援の取組を強化しました。

さらに、事業所への求人充足支援サービスの提供を強化するために、未充足求人を対象として求人担当者制を取り入れて、担当者が個別求人者に対して、求人条件の緩和への助言、面接会の参加勧奨、求人票以上の事業所情報の収集などの支援を行い、一人でも多くの求職者の紹介に繋がるように取り組みました。

前年度の業務改善事項の一つとして、天理市しごとセンターでの事業所への人材確保支援サービスとして、新たに当該センターで求人受理ができるように人員を配置するとともに、当該センター独自でミニ面接会を開催し、人材確保の支援サービスを充実しました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の専門性を高める観点から、求人部門及び職業相談部門の全職員を対象に、管内事業所を訪問のうえ、職場環境や仕事内容を見学して、求人票に記載できない事業所情報について求職者への提供に努めるとともに、応募時の書類選考に対応するために、履歴書や職務経歴書の作成支援の研修を実施して求職者支援サービスの強化を図りました。また求人受理や職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、非常勤職員を含む全職員を対象として労働基準監督官による労働基準法の研修を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

① 求職者及び求人者への支援の改善

求職者の担当者制を確実に実施し一貫したきめ細かな支援内容を強化するために、相談担当者カードを窓口で求職者に交付するだけでなく、ハローワークに来所される場合に持参されるハローワークカードにも担当者が分かる表示を行い、確実に担当者が継続して支援ができるように改善をしました。

また、求人者については人手不足の中、一人でも多くの求職者の応募に繋がるように、面接会への参加勧奨を行い企業の人材確保への支援を強化しました。

面接会開催実績      面接会開催回数 47 回、参加企業数 160 社、参加求職者数 402 名、就職件数 138 件

② 人手不足への対応強化

全産業的に人手不足が広まる中、特に人手不足が顕著な「介護、看護、保育」の福祉分野及び「運輸、警備、建設」分野の人材確保を重点的に取り組むために、「人材活躍支援コーナー」を新たに設置し、専任の担当者を 4 名配置して、面接会の開催、事業所の PR、求人票以上の事業所情報の収集と求職者への提供に取り組みました。

上記分野の面接会 20 回、参加企業数 61 社、参加求職者数 169 名、就職件数 58 件

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 人手不足が特に顕著な介護、看護、保育等の福祉分野及び建設業、運輸業、警備業については、引き続き重点的に人材確保のための支援を強化していくこととします。

② 65 歳以上の高齢求職者の割合が増加していることから、おおむね 60 歳以上の高齢者の就職促進の強化を図ることとします。

(4) その他業務運営についての分析等

求人充足支援の強化

多くの業種において人手不足の傾向が一層顕著になっていることから、企業の人材確保を着実に支援するために、求職者ニーズを考慮した良質正社員求人の確保及び面接会開催の年間計画を立てて着実に開催していくこととします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対 する 紹介率	求職者に 対する 紹介率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に 結びついた フリーター 等の件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支 援対象者 の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口で の65歳以 上の就職 件数
実績	5,222	4,959	1,775	94.4%	100%	19.5%	18.8%	214	376	811	93.2%	18,337	2,228	140
目標	4,962	4,992	1,688	90.0%	90.0%	21.2%	19.3%	222	345	1,033	92.1%	19,018	2,193	106
目標達成率	105%	99%	105%	—	—	91%	97%	96%	108%	78%	101%	96%	101%	132%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク大和高田 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

##### 【求人充足支援】

雇用情勢の改善により人手不足が深刻化する中、「求人充足対策サポート検討会」を週4回実施し、選定求人の詳細な情報を共有化することにより確実なマッチングや求人者への助言・指導につなげる取り組みを行いました。

##### 【求職者支援】

来所者の取り込みでは、総合受付での求人閲覧のみの来所者への声掛けに加えて、フロアを巡回し、閲覧に対する助言やリーフレット・掲載ポスターに対する説明を行うことにより窓口利用につながるよう努めました。

さらに、窓口では担当者制による手厚い支援や事業所情報の収集・提供により「ハローワークに足を運べば受けられる」サービスを強化し、求職者の満足向上に貢献しました。

また、雇用保険受給者の初回認定日の再接触時には、職業相談窓口にて「再就職手当試算表」を作成し、早期再就職のメリットを説明することにより早期再就職の促進につなげることができました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、PDCA管理による所の各指標の目標を達成するため個人別に目標数値を設定し、個々に業務の振り返りを行うこととし、業務の見直しや目標に対する意識向上につなげることができました。

また、雇用保険担当者に対する職業紹介業務研修を実施することによりハローワークサービスの理解度を深め、雇用保険窓口において求職者の必要とする支援を把握し、的確に職業相談部門へ誘導することができるよう取り組みました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

##### 【求人者充足支援の改善】

「求人充足対策サポート検討会」において、求人票以外の求職者が知りたい情報や求人者が伝えたい情報を収集するために「求人検討シート」を作成し、よりの確な紹介ができるよう取り組みました。

また、より多くの事業所詳細情報の収集を行うため、事業所見学の目標を月2回から年度後半には4回と定め、併せて職員の専門性向上や信頼関係構築のために取り組みました。

#### 【人材不足分野の支援】

「あなたを待ってる☆しごとコーナー」において、介護職に興味を持つ求職者に介護現場の実態をより理解いただくよう「介護職セミナー」の定期的開催に取り組み、合同面接会への参加へとつなげ福祉人材の確保を図ることとしました。

また、運輸業では業界団体と連携したバス運転手セミナー及び運転体験会を実施し、バス運転手の職務内容や労働条件の周知、求職者の掘り起こしを進めました。

### (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

#### 【求人・求職者サービスの改善】

○職業相談部門と求人部門の連携を強化し、求職者ニーズや求人者ニーズの共有を行い、個別求人開拓やマッチングを積極的に進めます。

○「求人充足対策サポート検討会」における「求人検討シート」による求職者が知りたい情報や求人者が伝えたい情報収集に努め、マッチング効果を高めるよう取組みます。

○就職面接会について求人者から開催の要望は強いが、今年度1社当たりの平均参加者が3.4人と低調であったことから、求職者ニーズに合致した対象求人の選定となるよう改善を図ります。

○求職者担当者制・求人者担当者制において、担当者が「その求職者を就職させる」「その求人を充足させる」という高い意識を持って支援に取り組みます。

### (4) その他業務運営についての分析等

#### 【高齢者の再就職支援】

高齢期の生活を踏まえた職業生活の再設計や年金受給者である求職者の職業生活に係る相談ニーズが高まる中、「シニア再就職支援セミナー」は各回定員を上回る参加状況であるが、再就職につなぐことができるようシニア向け求人開拓に取り組んでいきます。

#### 【女性の就職支援】

自治体と連携し、マザーズセミナーを開催した。今後はより一層子育て女性の就職支援として魅力あるセミナープログラムの作成や周知広報を工夫して取り組んでいくこととします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	マザーズ重 点支援者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	5,484	4,790	1,816	96.7%	96.9%	21.8%	20.2%	139	360	92.9%	12,664	2,377
目標	5,628	5,007	1,645	90.0%	90.0%	24.6%	21.4%	125	352	92.1%	13,038	2,537
目標達成率	97%	95%	110%	—	—	88%	94%	111%	102%	100%	97%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率





# ハローワーク桜井 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

##### 【地方自治体との連携の推進】

来所者数が、年々減少している中で、一人でも多くの方が安定した就職ができるよう、また人材不足解消のため求人者へのサービスを充実させることができるように、平成30年度は管内自治体との連携による合同面接会を開催し、多くの参加者を得て就職促進を図ることができました。（桜井市、宇陀市）

##### 【雇用保険受給者の就職促進】

・初回講習・雇用保険説明会を活用して、事業所から直接説明していただくことで、事業所の内容がわかりやすく伝わり、もう少し詳しい話を聴いてみたい？事業所見学をしてみたい？求人があるなら応募したい？といった効果が表れました。

・職業相談部門と雇用保険給付部門が連携し、説明会で配付する受給資格者証の裏面に、受給者個々の早期再就職した場合の再就職手当受給額のシール（以下、「シュミレーションシール」という。）を貼付しています。また、説明会では、シュミレーションシールに記載された受給額を案内し、相談窓口を活用した早期再就職のメリットの説明によって、早期再就職に向けた意欲喚起をしています。

初回講習会においても、シュミレーションシールの内容を案内し、相談窓口を活用した早期再就職のメリットを説明し相談窓口の利用増加とともに紹介件数の増加を図り、雇用保険受給者の早期再就職者数の向上に取り組んでいます。

##### 【求人票以上の情報提供による就職促進】

事業所PRシートについては、作成しやすく、かつ、内容をわかりやすい様式に見直しを行ったことにより、これまで、看護、介護等の福祉分野の事業所を中心に提供してきましたが、平成30年度は、介護・看護分野以外の人手不足（人材確保）分野への働きかけを強化しました。また、その活用方法について、従来は求人情報提供端末への掲載、求人情報提供時の添付が中心となっていました。職業相談窓口での積極的な提供を行い、事業所への人材確保につなげました。

#### ②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

##### 【職員等の資質の向上に向けた取組】

職員個々の目的意識の向上と専門性を明確化するため、個人別の目標管理を実施するとともに、職業相談等において必要な以下の研修を

実施しました。

- ・労働基準監督署長による労働法制関係研修（3回）
- ・若手職員自らが講師となり、全職員に対して人手不足（人材確保）分野についての職業理解の内容で研修を実施（5回）
- ・雇用保険給付分野から職業紹介部門の職員・相談員に対して、雇用保険制度の理解を深めるための研修を実施（6回）

## （2）サービス改善・業務改善を図った事項

### 【潜在求職者等へのサービス改善】

- ・三重県伊賀所との合同による地域を超えた面接会及び管内自治体との連携による面接会を実施しました。面接会への参加は、全て相談だけでも可能としており、幅広い地域からの参加を得られました。また、他の自治体からも地域の企業への人材確保のために、「どのようなものが開催できるか」との相談がありました。
- ・桜井市、宇陀市及び川西町の子育て支援部署の協力により、保健センターなど人の集まりやすい場所で、子育てをしている女性の就職支援のためのマザーズコーナーを案内して、ハローワークのPRを展開しました。また、近畿財務局奈良事務所と連携を図り、子育て中の女性の就労準備に必要な情報を提供するため「女性のための税と就労についてのセミナー」を開催しました。

## （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

### 【求人者・求職者へのきめ細かなサービスのより一層の取組】

求人充足支援サービス、正社員就職による安定した雇用の確保をより一層進めるため、求人担当者制並びに求職者担当者制を実施します。

### 【有効的な面接会の開催】

平成30年度は、雇用保険受給者の他一般求職者や高校卒業予定の就職を希望する生徒、高年齢者、子育て中の女性に重点を置き面接会を開催しました。平成31年度は、さらに応募就職者を増やすために、求人内容の記入助言や、労働環境改善の働きかけを実施して応募しやすい求人への転換を図り、条件のマッチングする求職者への参加勧奨によって、求人充足サービスに取り組みます。

## （4）その他業務運営についての分析等

### 【地方自治体との連携の強化】

- ・平成30年度は管内自治体との連携による面接会を実施しました。（桜井市、宇陀市）
- ・桜井市、宇陀市及び川西町と連携し、女性の就業支援を目的にしたセミナーの開催や臨時職業相談コーナーを開設しました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	公的職業訓 練修了3ヶ 月後の就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,978	1,404	544	100.0	97.2	17.3	18.5	167	133	5,084	909
目標	2,013	1,475	515	90.0	90.0	19.1	19.9	145	100	4,741	970
目標達成率	98%	95%	105%	—	—	90%	92%	115%	133%	107%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク下市 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

・当所では、雇用保険受給者の早期再就職を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、認定日の全員面接に加えいかにして認定日以外の来所、職業相談に繋げるかを考え取組みを行った。

まず、雇用保険の手続きに来所された求職者には、ハローワークの活用方法を詳しく説明し、求職票記載については、希望職種やその他の希望条件を詳細に確認し、その場で条件にある求人があれば求人情報を配布することとした。また、初回講習までに求人とのマッチングを実施し、郵送による情報提供、電話による情報提供を行った。事前に情報提供が行えなかった場合は、初回講習会受付時にマッチングした求人票を交付し終了後に相談窓口での相談、紹介に繋げることにした。検討中の者については、初回認定日までに電話によるフォローアップを実施し認定日後の相談に繋げた。給付制限中の者にも郵送による情報提供だけではなく、電話によるフォローアップを実施し、ハローワークへ来所しやすい状況を作るようにした。さらに、年度末に取組みの総仕上げとして強化月間を設けるなどにより、平成30年度の目標を達成したところである。

・求人充足支援にも重点的に取組み週1回の充足会議や日々の早朝ミーティング時に前日受理した求人全てについて受理担当者より受理時の状況や求人者が求める人材、仕事内容について説明させることにした。それにより、全員が情報を共有することで同じ目線で紹介が行えることが出来た。

また、充足会議などで検討された求人や支援対象求人の事業所へは求人担当と紹介担当が2人一組で事業所訪問を実施し事業所シートの作成やPRシートの作成につなげ、見やすく、わかりやすい求人票の作成に努めた。その結果、年間充足目標を達成することが出来た。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

10分間研修として、月三回、職員、相談員が講師を務め、当該人の担当をしている業務について、他の職員、相談員への研修を実施した。

雇用保険制度、障害者支援についてなど、求職者から聞かれることが多いが、わからないといった内容について研修を受けることで窓口での相談にも役立てることが出来ている。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

当所のフロアは玄関を入ると奥に長い造りになっており、相談窓口、求人窓口、雇用保険窓口の順にならんでいるが、玄関フロアの案内図を見ても平面図であるためわかりにくいことから、受付窓口での声掛けを徹底し、迷うことなく担当窓口に行けるよう誘導に努めた。

また、ボイスレコーダーで相談窓口へ案内する際は、担当者が立ち手を挙げて誘導することにしたことで、担当窓口へ適切に誘導することが出来た。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人事業所に対する充足サービスを重点にし、事業所へのフォローアップにより一層取り組む。

具体的には、事業所訪問、見学の回数を増やし、生の現場の情報を求職者に伝える。

求人条件の見直しなど事業所に対し積極的に応募状況などの現状をつたえ条件緩和指導に努める。

変更された求人についてはリニューアル求人としてどこがどのように変更されたか求職者にわかりやすく伝えることで応募勧奨を行っていきます。

さらに、面接会だけではなく事業所説明会なども積極的に開催することで求職者に直接事業所の状況を知っていただく取り組みを増やしていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

求職者の条件把握、求人事業所への緩和指導等のフォローを十分行い適切なマッチング、事業所への緩和指導などの取組みを積極的に実施していきます。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	学卒ジョブサ ポの支援に よる正社員 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,221	1,212	282	98.0%	100%	18.7%	22.5%	145	3,185	506
目標	1,157	1,035	248	90.0%	90.0%	19.0%	23.8%	102	3,105	489
目標達成率	105%	117%	113%	-	-	98%	94%	142%	102.%	103.%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率





# ハローワーク大和郡山 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### 【良質求人確保】

求職者が安心して応募できるよう適正な労働条件の求人票を確保し、未経験者が見てもわかりやすい仕事内容になっているか等の確認を行った。

事業所に求職者ニーズを提供し、記載にかかる助言・援助を行うことにより求人条件の緩和に取り組み、求職者が応募しやすい求人票になるよう努めた。

また、画像情報の収集及び、提供・PRシートの作成に努め求人票以上の事業所情報を提供できるようにした。

#### 【雇用保険受給者の就職促進】

雇用保険受給者全員に「再就職手当試算表」を配付して、初回講習・説明会・認定日における面接相談において早期再就職を促すよう取り組み、担当者制による就職支援を行った。

#### 【生活保護受給者等の就職促進】

大和郡山市と中和福祉事務所と一層の連携を図って、個別支援に取り組んだ。

#### 【障害者の就職促進】

ハローワークが中心となり関係機関との「チーム支援」を実施して、企業と障害者のマッチングを図った。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

アンケート調査では、「案内表示」「見やすいポスター掲示」「わかりやすい陳列」の意見があったため、「エントランスから受付までの案内表示の拡大・矢印の表記」「種類別にパンフレット陳列の整理」「求人票掲示板への画像情報掲示・POP表記」等により、見やすく・わかりやすい掲示に努めた。

また、人手不足分野（福祉人材等）の人材確保を図るためのミニ面接会を定期的を開催し、求職者への周知として求人検索機の初期画面に開催案内表示や玄関前への案内板（スタンドボード）の設置及び入口エントランスにて事業所案内パンフの設置・製品展示等を行い、参加者の増加を図ることが出来ました。

認定日や認定時間の分散化を図ることで雇用保険受給者へのスムーズな職業相談を行えるよう改善を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

年度途中から強化した担当者制と応募書類作成支援等による集中的な就職支援により、就職件数が回復基調にあると考えられるため、今年度の取組を引き続き継続して求職者への支援を行っていく。

能動的なマッチングと紹介後のフォローアップにより再来所を促し相談窓口へ誘導することで事業所への人材確保を図っていく。

今後も適正でわかりやすい求人票が求められるため、情報提供した求職者からの反応を収集して求人条件緩和に取り組んでいく。

未充足求人へのフォローアップ、紹介部門の職員も同行し、業務内容等や求人票以上の内容の収集・理解に努めマッチングの向上を図っていく。

(4) その他業務運営についての分析等

求職者支援を円滑に行うには、職業相談部門に限らず各部門の業務を理解して連携する必要があるため、所全体において各業務の事業研修（年間8回：早期・訓練・生保ナビゲーター・求人者支援員業務、雇用保険業務、職業紹介業務、社労士による年金研修等）を実施した。

他にもナビ5名による応募書類の作成研修では、指導項目が整理され統一した支援ができるようになるなど、職業相談のレベルアップのための研修を今後も取り組んでいく。

人材確保支援として昭和工業団地協議会・大和郡山市との共催により第2回目の合同面接会を開催し、昨年度より参加が増えるなど一定の成果があった。

協議会から来年度も開催の意向があり、開催にあたり今後もいかに参加者を集めるのが課題となるため、求職者の掘り起こしに向けた広報の強化及び各所への周知に取り組んでいく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,955	1,591	685	98.6%	100%	18.1%	19.0%	90	133	5,454	959
目標	2,092	1,674	673	90.0%	90.0%	18.8%	20.3%	86	111	6,401	1,004
目標達成率	93%	95%	101%	—	—	96%	93%	104%	119%	85%	95%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率